

科目	授業改善について、独自に工夫されていることについてお書きください。
F	新しい教材を使う。生徒の興味をひく。
F	1. 様々なレベルや動機を持った学生が頑張っ取り組めるように、講義を進めている。具体的には、英語で自己表現をする時の内容を自分で考えさせたり、覚えたい語彙を自分で選ばせたりしている。 2. 学生が英語で話すときのストラクチャーを作りやすいようなワークシートを作成している。
F	学生の反応を確認しながら、授業を進めるようにしています。それによって分かり難い箇所、あまり学生には興味がない箇所が把握でき、次回の授業に活かされるようにしています。
F	コミュニケーションスキルの向上を図るため、学生同士でのペアワークやグループでのプレゼンテーションのタスクを課している。
F	学科により英語訓練への反応が違うので、学生の様子を確認しながら、適宜進度を決める。授業についての発言は、その質問が適切であるかどうか、よく考えてから発言するよう何度でも伝える。故にアンケートの自由記述も不適切な言葉がないよう伝えた。が、それを越えて間違いをするものが年々増えているので、こちらもより慎重に伝えるように工夫する。
F	リーディングスキルの向上を目指すクラスであるが、授業ではペアワークなどを取り入れ、学生同士で講読内容を説明したり、要約したりするタスクを課している。
F	常日頃から学生のニーズに合った教科書を意識して探している。
F	授業前の休み時間に席替えを実施する。教員養成の大学なので、気の合う人ばかりではなく苦手な人とも積極的に関わってもらいたいと思い、英語Ⅱのクラスでは2週おき、コミュニケーションのクラスでは隔週で実施。エクセルの並べ替え(乱数)を使って席順を決める。一番前に座るのを嫌がる学生とか面倒がる学生もいるが、ワクワクして面白いとか気分転換になって良いと言う学生が多い。座席表に氏名を書いてもらうので出席チェックも同時にできて良い。毎回、できるだけ早く教室に行って準備をし、開始時間に余裕を持って挨拶をし、授業に入れるように心がけている。英語力に差があっても皆が英語学習を楽しめるような雰囲気作りを心がけている。教科書の内容だけではつまらないので、教科書以外のアクティビティやタスクも取り入れている。授業が短調にならないように、メリハリのある授業作りを心がけている。
F	「聞く、話す」分野のコミュニケーションはインプットがたくさんないとアウトプットすることができないので、可能な限り正しい英語を聞かせていけるよう、指導していきたい。
F	机間授業を通じて学生との意思疎通を図りながら、個々の質問に丁寧に答えることによって、学生の理解を深めるようきめ細かな授業を行うよう努めている。具体的には、例えば、各自テキストの問題を解いている間、教室を廻りながら、彼らの回答の様子を観察しながら、適宜個別指導をしたり、質問を受けたりすること(机間授業)を常に念頭に置いている。彼は学生とのコミュニケーションをとるのに良い方法であり、また個別的にしか質問できない学生もいるからである。
F	学生から授業目標にそった独自のアンケートを期末に実施し、自己分析して次期のテキスト選択や活動内容の見直しなどに生かしている。

F	各授業の最後に出した課題にコメント欄を設け、授業に関する要望に対しできるだけ丁寧に対応するようにしている。さらに授業の雰囲気もみて、授業の進度を調整するように努力している。
F	各授業において、ポイント制度を実施することで、学生の学習モチベーションの向上をはかっている。 また、学生が興味を持ちそうな授業内容を考慮しながら、英語能力の向上をはかっている。
F	ポルトガル語を通して、ブラジルの文化についても興味・関心を持てるように、教材を工夫している。
F	テキストの内の英文法、文脈理解を徹底的に行いつつ、常に音声を聞かせながら効果的に授業を行っている。 また映像教材(DVDディスク)も頻繁に用いて視覚的にも英語を学習させるよう努めている。 グループ・パフォーマンスが受講生にとっては新鮮でクリエイティブかつ刺激的であったようである。 今後もこの種のアクティビティーは続けていきたい。
F	外国語科目を担当したのは今学期が初めてであったが、外国語科目がほとんど開講されていない現状を考慮し、今後の英語の自主的な勉強に役立つ方法を体験してもらうことに主眼を置いてみた。